

河合橋デザイン検討会議



第3回会議資料 2017.12.08

議題1 ; デザインコンセプトについて（再確認）

議題2 ; 部材のデザインポイント

議題3 ; 全体デザインの調和について

■デザイン・コンセプト キーワード

グループごとにタイトルを付けて整理したキーワード

【安全】

歩道が狭い, 離合できない, ベビーカー, 安心, 今の社会に応じた対策, 昔と今では求める安全性が違う, 古いだけでなく新しさを取り入れる

【下鴨神社】

訪れる人を迎える玄関, 参拝経路, 下鴨神社, 糺の森が下鴨神社の参道, 灯籠, 伊勢神宮の宇治橋, 聖域である森, 神社建築, 擬宝珠

【外から見られるデザイン】

外から見られる橋, **橋と森の借景**, エリア全体を高める, 総合的にデザインする, 飾り立てるスポット, 灯籠で鴨川デルタを囲う, 鴨川デルタから眺める風景, 荘厳する, ブラケット(支持具)の縦のライン, ブラケットと柱が線でそろう

【出会いの場(舞台)】

河と河が会う, 人と人が会う, 河と人が会う, **神と人が会う**, 交愛橋(かわいばし), まちとまちを繋ぐ, つなぐ橋, パッチギ(映画)の舞台, アニメの聖地巡礼

【歴史・文化】

武田五一, 武田五一が関わった橋梁群(賀茂大橋他), 歴史ある橋, 歴史に敬意, 水害の負の遺産, 自然と歴史の文化を守る

【河合橋を取り巻く風景】

水辺とその風景, **京都の誇る風景**, 品格のある風景, 京都の風致, 自然である川, 親水空間, 鴨川公園, 鴨川デルタ, 学生の花見, 2橋の連続性, 賀茂大橋, 出町橋, 3つの橋, サステナビリティ(持続可能な)

■デザイン・コンセプト

キーワードから導き出したデザイン・コンセプト

・ 歴史と文化を継承し，参道・玄関にふさわしいデザイン

・ さまざまな出会いの場を安全につなげるデザイン

・ 取り巻く風景と調和し，橋の内と外から見られることを意識したデザイン

■ 前回会議で決定したデザインの確認

【ブラケット】 配置間隔と形状



配置と形状 : 300×600mm



【歩道舗装】

色 : グレーみかげ



【車両用防護柵】 色 : グレーベージュ



【歩道照明】 手摺照明



【高欄】 転落防止 : 縦桟



■デザイン検討対象部材

- ① ブラケット（前回からの継続検討事項）
- ② 車両用防護柵手摺（前回からの継続検討事項）
- ③ 歩車道の境界部（前回からの継続検討事項）
- ④ 灯籠
- ⑤ 橋桁の塗装
- ⑥ 橋詰め

第3回会議検討事項



灯籠



橋桁の塗装



橋詰め

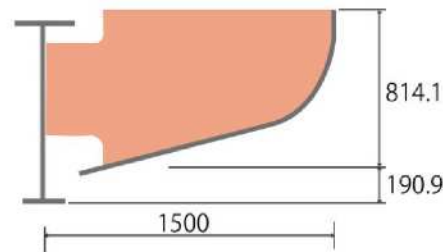
■ ① ブラケット (前回からの継続検討事項)

拡幅部のブラケット設置の検討

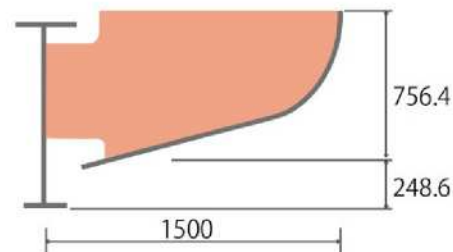
右岸下流から望む現況



A案 ; ブラケット下端と桁下端が同面

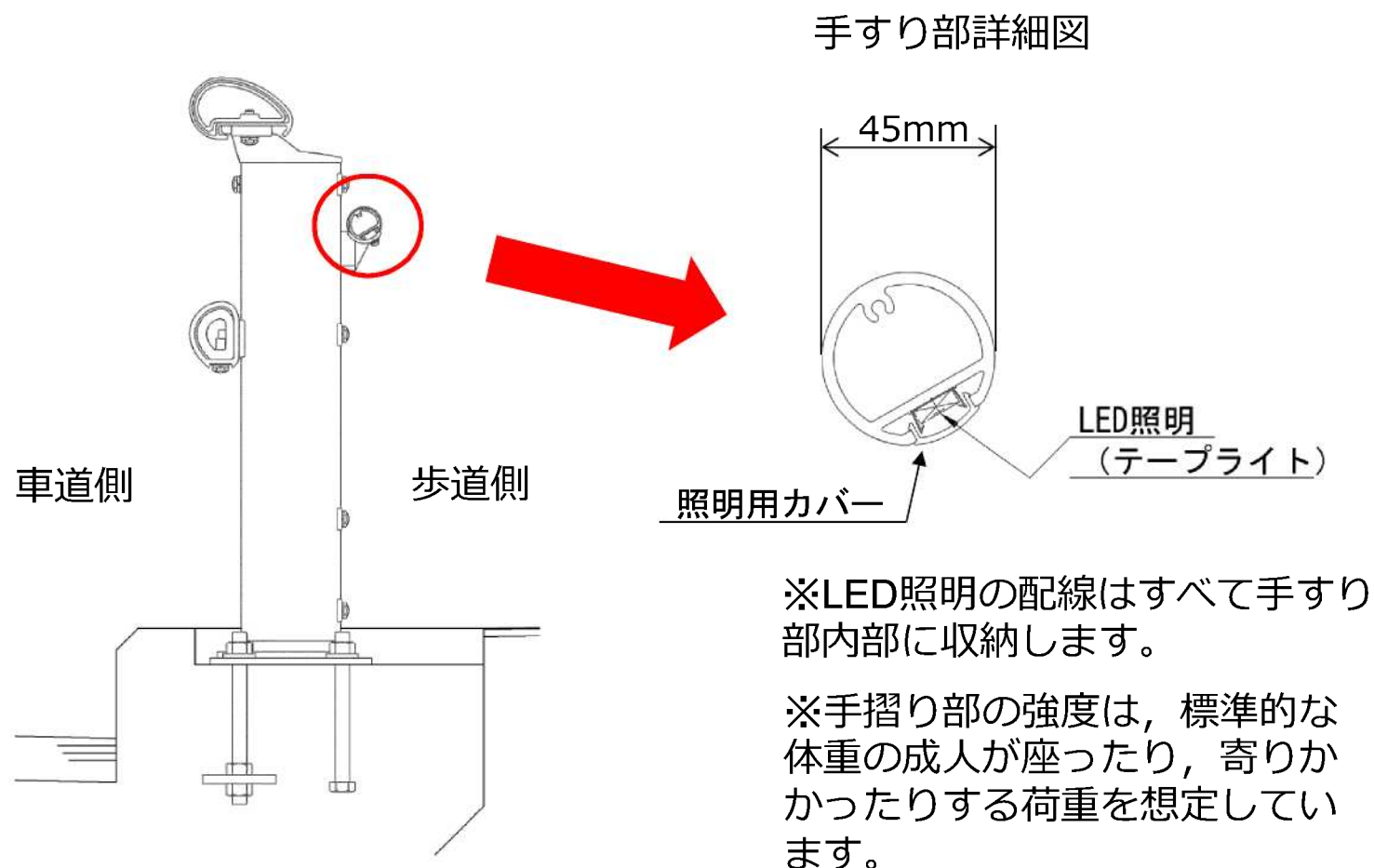


B案 ; ブラケットの角度が主桁のブラケットと同じ



■ ②車両用防護柵手摺 (前回からの継続検討事項)

- ・ 歩道照明の設置個所（手摺り部）の強度及び形状



■ ③歩車道の境界部 (前回からの継続検討事項)

A案；縁石－コンクリート



■ ③歩車道の境界部 （前回からの継続検討事項）

B案；縁石－コンクリート＋擬石調塗装（高欄嵩上げ部と同じ色）



■ ③歩車道の境界部 （前回からの継続検討事項）

C案；縁石－コンクリート＋擬石調塗装（濃いグレー色）



■ 灯籠

【前提条件】

- 再利用を行う。
- 賀茂大橋との調和を考慮し、一体的に考える。



(現況)

■ 灯籠

● 色の比較

A 案 橙色（現在の河合橋，賀茂大橋の色）



■ 灯籠

● 色の比較

B 案 淡い橙色（「賀茂大橋デザイン検討会議」に於いて選定された基本色）



■ 灯籠

● 色の比較

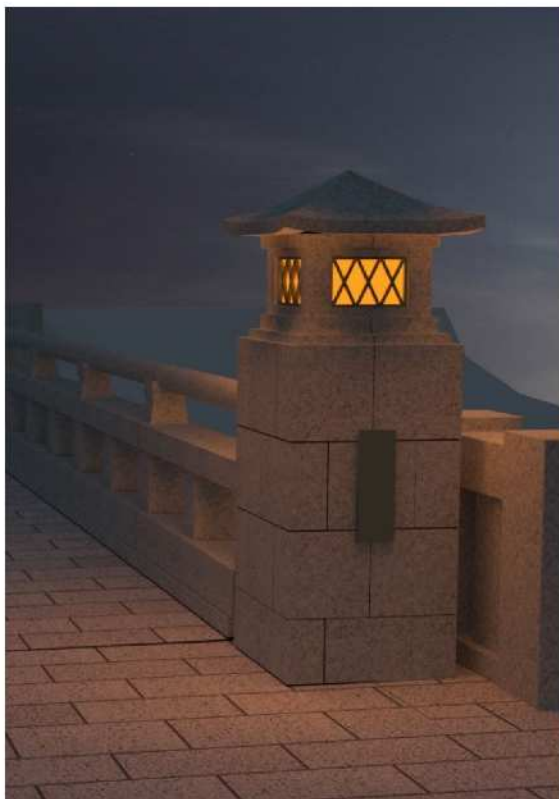
C 案 白色



■ 灯籠

● 色の比較

A 案 橙色



B 案 淡い橙色



C 案 白色



■ 灯籠

● 中柱部灯籠追加比較

A 案

親柱灯籠のみ（手摺の照明有）



■ 灯籠

● 中柱部灯籠追加比較

B 案 中柱部灯籠追加（手摺の照明有，灯籠タイプ）



■ 灯籠

● 中柱部灯籠追加比較

C 案 中柱部灯籠追加（手摺の照明有，薄型タイプ）



■ 灯籠

● 中柱部灯籠追加比較

A 案

親柱灯籠のみ
(歩道照明有)



B 案

中柱部灯籠追加
(歩道照明有, 灯籠タイプ)



C 案

中柱部灯籠追加
(歩道照明有, 薄型タイプ)



■ 灯籠

● 中柱部灯籠追加比較

A 案

親柱灯籠のみ



■ 灯籠

● 中柱部灯籠追加比較

B 案

中柱部灯籠追加
灯籠タイプ



■ 灯籠

● 中柱部灯籠追加比較

C 案

中柱部灯籠追加
薄型タイプ



■ 橋桁の塗装

【前提条件】

- 河合橋は、鴨川と高野川の合流部である鴨川デルタに架かる橋梁であるため、他の橋梁と連動し、まとまりのある水辺空間の一体感を演出し、釣り合いのとれた色彩構成とする。

■ 橋桁の塗装

● 橋桁塗装色の比較

A 案 青みがかったグレー系（賀茂大橋と同系色）



■ 橋桁の塗装

● 橋桁塗装色の比較

B 案 グレーベージュ系
 (河合橋, 出町橋の現況塗装色)



(出町橋)



(河合橋)



■ 橋桁の塗装

● 橋桁塗装色の比較

C 案 ダークブラウン系（高野橋と同系色）



■ 橋桁の塗装

A 案

青みがかったグレー系



B 案

グレーベージュ系



C 案

ダークブラウン系

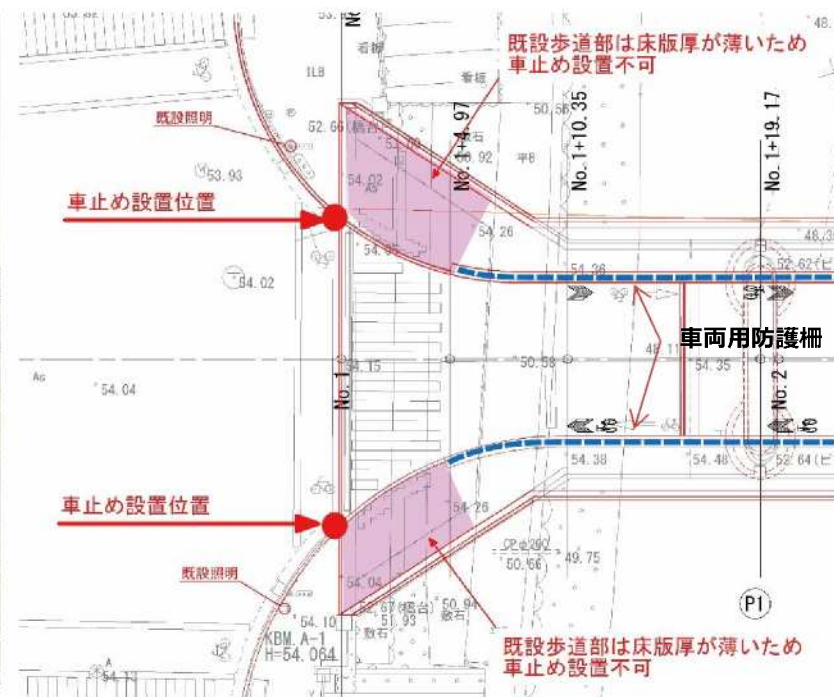


■左岸橋詰【前提条件】

- 車止めを設置し安全性を確保する。
- 車止めは構造上可能な対応策として橋台パラペット部に設置する。

●車止めの設置位置

左岸（出町柳駅側）



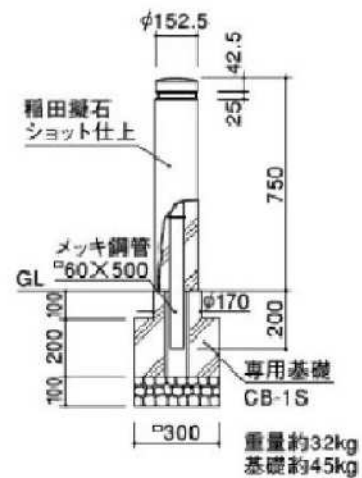
■ 車止め

● 車止めのデザイン

A 案

第1案：石風

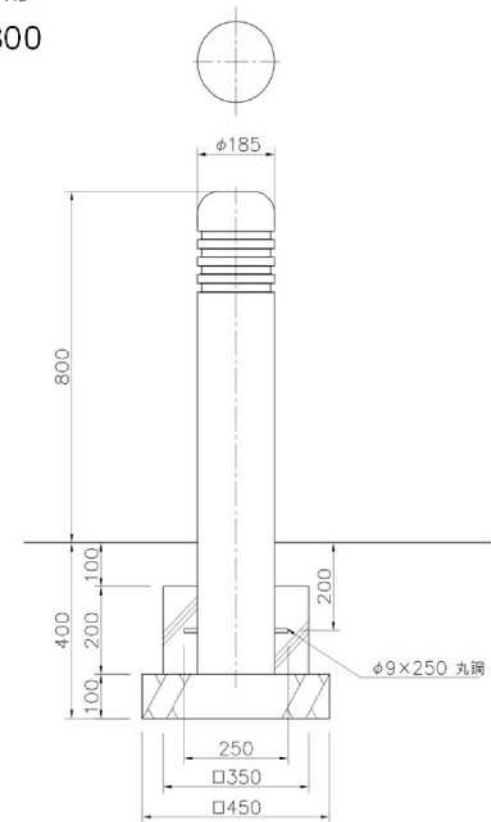
φ152.5 H=750



B 案

第2案：鋳物

φ185 H=800



■ 右岸橋詰【前提条件】

- 歩道の拡幅により橋詰の広がりを確保する。
- 歩道の傾斜を緩やかにし、安全性を高める。



右岸（下鴨神社側）



■デザインコンセプトと各部材デザインの関連性の確認

○歴史と文化を継承し、参道・玄関にふさわしいデザイン

- ・ **ブラケット**：これまでの形状，配置を継承する。
- ・ **石製高欄**：神社建築の石製高欄を再利用する。
- ・ **歩道舗装**：下鴨神社の参道にふさわしい石畳風舗装を採用する。
- ・ **灯籠**：下鴨神社の玄関にふさわしい灯籠を再利用する。

■ デザインコンセプトと各部材デザインの関連性の確認

○ さまざまな出会いの場を安全につなげるデザイン

- ・ **歩道拡幅**：車いすやベビーカーがすれ違える幅員を確保する。
- ・ **車両用防護柵**：車の衝突から歩行者を守る。
- ・ **歩道照明**：夜間における安全な歩行空間を確保する。
- ・ **石製高欄嵩上げ・転落防止**：歩行者の転落を防止する。
- ・ **橋詰（東側；車止め）**：橋詰からの車の転落を防止する。
- ・ **橋詰（西側；広場の確保）**：交差点部における歩行者の安全を確保する。

■デザインコンセプトと各部材デザインの関連性の確認

○取り巻く風景と調和し、橋の内と外から見られることを意識したデザイン

- ・ **ブラケット**：賀茂大橋や河合橋の石製高欄との調和を図る。
- ・ **灯籠照明**：取り巻く風景や賀茂大橋との調和を図る。
- ・ **橋桁の塗装**：取り巻く風景との調和を図る。
- ・ **歩道舗装，歩道照明**：歩行者の視線を意識する。